

印相の意味を知る!!

いんぞう

印相とは…

仏像の手の形の事。仏像をよく見てみると様々な手の形をしていますが、その一つ一つに意味があります。よく目にする印相にも下記のような意味があります。豆知識としてまとめてみました。



せむい
施無畏

恐れを去らせ、相手を励ます姿



よがんにん
与願印

相手に何かを与えるしぐさを模した姿

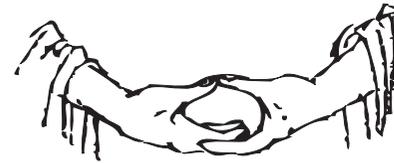
右手を施無畏印にし、左手を与願印にした姿を「施無畏与願印」と呼び、これは信者の願いをかなえようという姿となります。

これは日本三大大仏の一つ、「奈良の大仏」がとっている姿でもあります。



あみだじょういん
阿弥陀定印

瞑想や座禅のときの姿



ぜんじょういん
禅定印

阿弥陀定印と同じく瞑想の姿。定印にはいくつかの種類があり、そのうちの一つである。



てんぽうりんいん
転法輪印

説法印とも呼ばれ、釈迦が説法を行うときの姿



ごうまいん
降魔印

悪魔を退ける姿



ちけんいん
智拳印

悟りの境地が最高に達したときを表した姿



らいごういん
来迎印

臨終に際して、死者を極楽浄土より迎えに来る時の姿



上記は主に日本で言う「如来」の印相です。「如来」はサンスクリット語の Tathāgata の訳で“真実から来た”と解釈され「仏陀」と同義であるといわれます。

ちなみに「仏陀」Buddha の訳は「覚者」で“目覚めた者”“真理を悟った者”の意味とされています。

